

BOLDを用いた対面型の 子どもの発達調査

2025年3月8日(土)

京都光華女子大学心理学科 大谷多加志

本日の発表

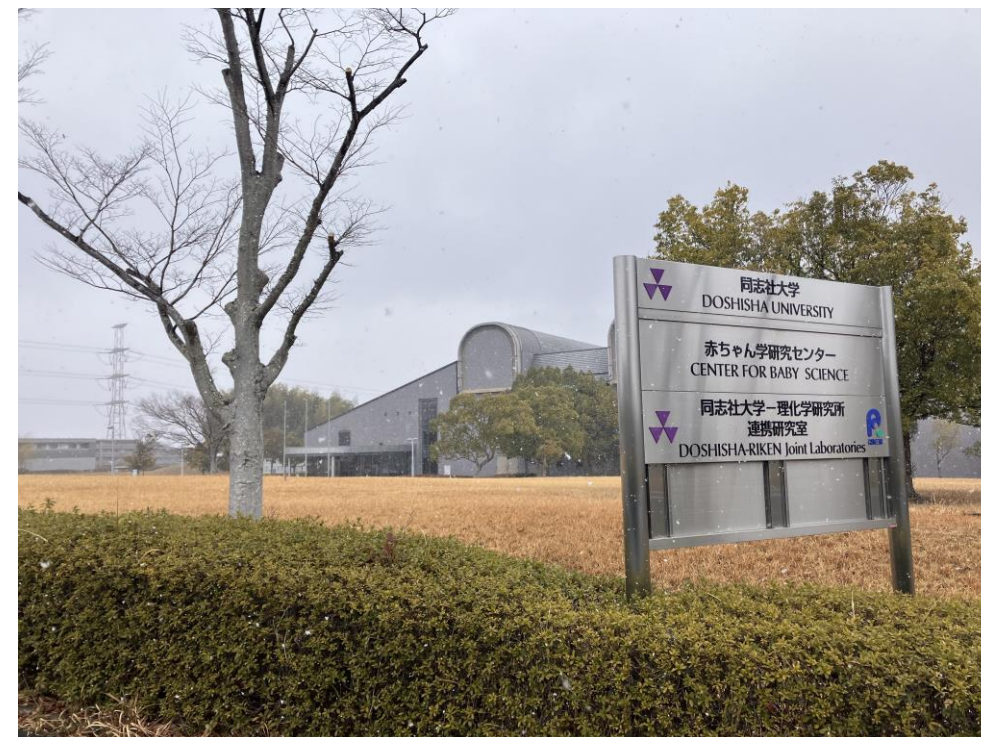
- BOLDを用いた対面型発達調査を始めるに至った経過
- BOLDを用いた対面型発達調査を行っての実感

本日の発表

- BOLDを用いた対面型発達調査を始めるに至った経過
- BOLDを用いた対面型発達調査を行っての実感

同志社大学におけるコロナ禍の発達調査

- 2020年から2023年にかけて、同志社大学赤ちゃん学研究センターで発達調査を実施した。
- 生後10-11か月時および生後18-24か月時に新版K式発達検査2020とKIDS乳幼児発達スケールによって発達を評価した。



同志社大学におけるコロナ禍の発達調査

- その結果、18-24か月時において、新版K式2020の言語社会領域でDQの低下が確認された (Otani et al., 2024)。

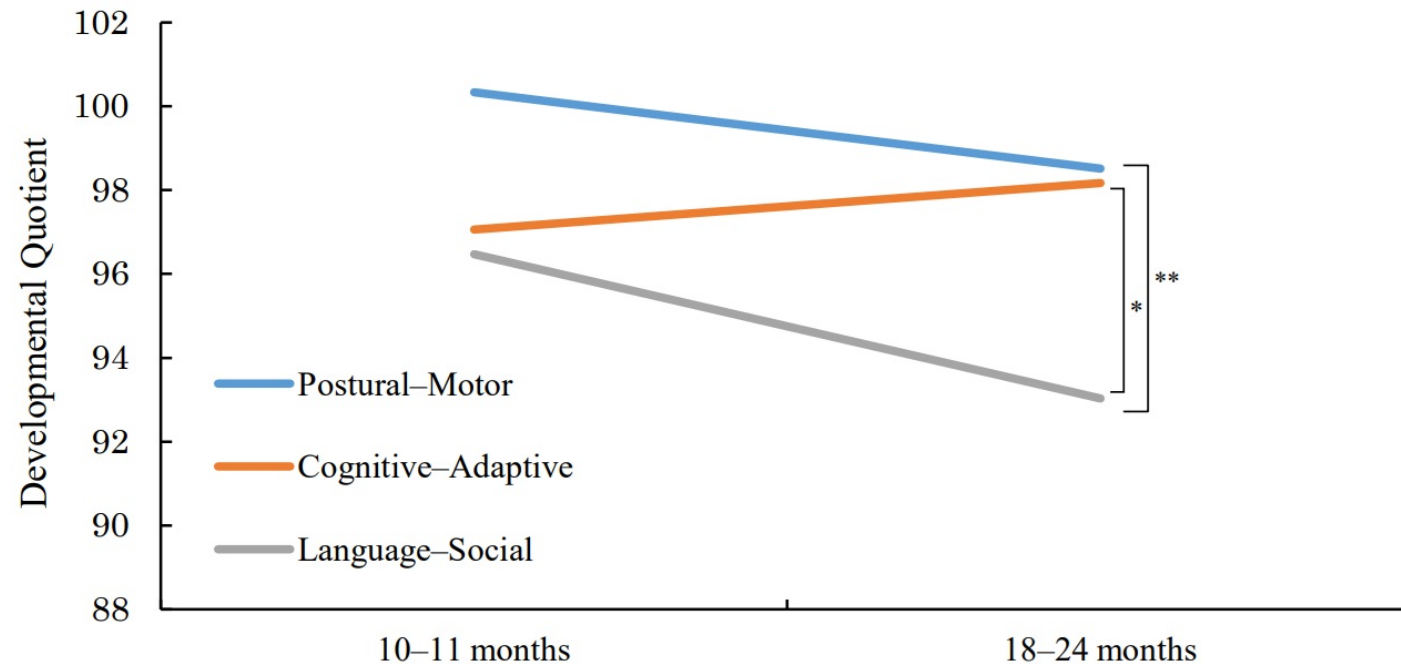


Figure3. Results of KSPD at 10-11months and 18-24months

同志社大学におけるコロナ禍の発達調査

問①:

コロナ禍の調査で確認された言語発達への影響は、その後残存するの
か？

問②:

アフターコロナ時代に生まれた子どもには、言語発達の遅れは見られない
のか？

同志社大学におけるコロナ禍の発達調査

問①:

コロナ禍の調査で確認された言語発達への影響は、その後残存するの
か？

⇒ 現在追跡調査中で、間もなく完了予定

問②:

アフターコロナ時代に生まれた子どもには、言語発達の遅れは見られない
のか？

同志社大学におけるコロナ禍の発達調査

問①:

コロナ禍の調査で確認された言語発達への影響は、その後残存するの
か？

⇒ 現在追跡調査中で、間もなく完了予定

問②:

アフターコロナ時代に生まれた子どもには、言語発達の遅れは見られない
のか？

⇒ 2023年以降に生まれた子どもの発達調査を行う

本日の発表

- BOLDを用いた対面型発達調査を始めるに至った経過
- BOLDを用いた対面型発達調査を行っての実感

アフターコロナ時代の発達調査に向け…

- BOLDを予約システムとして利用する。
- BOLD上に調査日程を掲載し、BOLD登録者はシステムを通して予約を行う(変更・キャンセルなども全てWebで完結)。
- こちらから連絡が必要な場合は、BOLDを通してメールを送ることが可能である(来校方法についてのPDFを送信している※)。



京都光華女子大学での調査に参加する
赤ちゃん研究員募集中！

2020年からのコロナ禍においては感染拡大予防のためにさまざまな社会規制が行われ、それらの社会規制が子どもの発達にネガティブな影響を及ぼした可能性が懸念されました。本学心理学部の教員が同志社大学赤ちゃん学研究センターと共同で行った研究においても、1歳台の子どもの言語面の発達にわずかながらネガティブな影響が生じていることが確認されています。

本研究の目的は、コロナ禍による影響が、社会規制が解除された現在においても残されているのか、それとも緩和・消失しているのかを確認することです。そこで本研究では、社会規制がおおむね解除された2023年5月以降に出生した子どもを対象に発達調査を行い、コロナ禍の影響が残されているかどうかを検証します。

現在、生後10-11か月および18-24か月のお子さんのご参加を募集しています。ご協力頂ける方は、以下の手順にてご予約をお願いいたします。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

◆参加手順◆



BOLDの詳細はこちら

手順①
予約システム(BOLD)にご登録ください。



BOLD登録サイト

手順②
予約システムから「アフターコロナ時代の子どもの発達調査」(対面調査)を選択し、ご希望の日時をご予約ください。

手順③
当日、京都光華女子大学慈光館前までお越しください。スタッフが迎えにまいります。

※10か月未満のお子様を募集中表示されますが、そのままご登録ください

BOLDとは？…BOLDは発達研究の有志により運営されている赤ちゃん調査のためのプラットフォームであり、本研究の予約受付にこのシステムを用いています。BOLD(Baby Online Live Database)にご登録頂き、ご都合のよい日程でご予約下さい。BOLDへの登録は無料です。本研究以外の調査(オンライン)にもご参加いただけます。

調査場所 京都光華女子大学慈光館4階 大谷研究室(京都市右京区西京極葛野町38)
問い合わせ先(調査担当者) 心理学科准教授 大谷多加志 (t-otani@mail.koka.ac.jp)

アフターコロナ時代の発達調査に向け…

- 時間の少し前に待ち合わせ場所で待機する。
- 直前の遅刻・キャンセル連絡に対応するため、メールをこまめに確認するとともに、研究室の電話をスマホに転送する設定にしている。
- 車での来校も可能で、現時点ではキャンセルなども無く、順調に進行している。



アフターコロナ時代の発達調査の課題

- 対面調査であるため、参加可能な方が限られるため、独自に募集する必要がある。
- 調査者ひとり体制のため、突発的な対応はやや不安。
- 次回調査のお誘いなどのスケジュール管理も含めて、ひとりでこなしきれるか？



まとめ

- BOLDはオンライン調査に特化したシステムですが、対面調査における予約システムとして使うことも可能です。
- オンライン、対面とも、多くの方が参加登録して下さる方が研究者にとっても使いやすいシステムになります。
- そのためには、多様な研究課題がある方が、幅広い参加者に関心を持ってもらえると思われます。
- ぜひ一緒にBOLDを魅力的な乳幼児研究の場にして頂ければと思っています！

ご清聴
ありがとうございました！

